

## 平成27年度第1回岡山県環境審議会廃棄物対策部会議事概要

### (開催要領)

- 1 開催日時：平成27年10月30日（金）13：30～15：00
- 2 場 所：メルパルク岡山 2階「未広」
- 3 出席者：
  - 委員（五十音順、敬称略）  
阿部 宏史、岡本 輝代志、片田 京子、内藤 はま子、野上 祐作、  
藤原 園子／6名（欠席1名）
  - 事務局  
循環型社会推進課長、一般廃棄物班長、事務局職員／4名

議 題	1 岡山県災害廃棄物処理計画の策定について 2 その他 （1）平成28年度岡山県環境審議会廃棄物対策部会の予定について
会議資料	別添資料のとおり
一委員意見一 意見1  一般廃棄物 班長  意見2	<p><b>【議題1】</b> 事務局から、資料により説明</p> <p>南海トラフ地震による津波被害と断層型地震では災害廃棄物の発生量が異なるが、例えば、より大きな災害で想定していれば、より規模の小さな災害では対応できると考えるのか。それともそれぞれの災害についての処理の方針を立てるのか。</p> <p>今回、市町村別にも災害廃棄物発生量を推計しており、県南は南海トラフ地震で被害が最大となると想定されているが、県北は南海トラフ地震よりも断層型地震の方が被害が大きくなると想定されている。</p> <p>今回、県では、今後各市町村で策定する市町村ごとの災害廃棄物処理計画で、各市町村で発生が見込まれる被害に対応できる計画を作ってもらうために、南海トラフ地震だけでなく断層型地震についても推計作業を行った。</p> <p>市町村災害廃棄物処理計画の策定率について、平成32年の目標が70%とあるが、市町村によって想定される災害が異なるのであれば、全ての市町村で災害廃棄物処理計画が策定されないと、県の計画とうまくリンクしていかないのではないか。実際に災害が発生した</p>

<p>循環型社会 推進課長</p>	<p>際、処理の実行計画を策定する上で、うまく機能しないのではないかと。目標値の見通しの理由は何か。どこか作成が困難な市町村があるのか。</p> <p>70%の目標値は、県の国土強靱化地域計画と整合を図って現時点で、設定しているものである。県計画の策定は廃棄物処理法に基づく義務となっているが、市町村は義務ではない。70%の目標設定が適当であるのかについては、現時点では回答は難しいが、市町村にはできるだけ策定してもらいたい。</p>
<p>意見3</p>	<p>災害廃棄物は法律上は一般廃棄物だが、災害廃棄物の中には、産業廃棄物も含まれている。各市町村で廃棄物処理業者に委託して処理を進めていく際、市町村にノウハウはあるのか。</p>
<p>一般廃棄物 班長</p>	<p>岡山県ではこれまで災害が少なく、災害対応に係る事務に不慣れな点が多い。そのため、発災時に速やかに民間への委託等の事務手続きがスムーズにできるか不安な部分はある。だからこそ、市町村計画の中にそれらの民間処理委託に係る事務手順の手順等が入ってくるため、県としては市町村においても災害廃棄物処理計画を策定してもらえよう進めている。また、先日、市町村説明会を実施したところで、県としては、こういった取組を行い、対応できるよう市町村に呼びかけてまいりたい。</p>
<p>意見4</p>	<p>災害で最も被害を受けるのは市町村に住む住民なので、各市町村は住民の安全の確保のため、自ら考えるはずである。それにも関わらず国がガイドラインを定め、策定を指示するのでは、それに沿って作ったというものしかできないのではないかと。地域ごとに災害の特徴はあるのだから、各市町村が独自に考え、提案し、それを県は積極的にサポートするといった立場で考えていく必要があると思う。</p>
<p>意見5</p>	<p>災害といっても今回想定している地震や津波は地学的な災害であるが、気象学的な災害としての台風や集中豪雨やそれらに伴う土砂の流出などとは全く被害も異質であるので、もう少し具体的に災害の種類によって被害状況を仕分けして想定するのがよいのでは。また、デング熱やエボラ出血熱などの疫学的な災害でも廃棄物は発生するので、これからの課題として今後出てくるのではないかと。</p>

	<p>そこで、災害を3つくらいに大別して、それぞれで発生する廃棄物を想定してはどうか。</p>
意見 6	<p>自分は県北に住んでおり、南海トラフ地震等による海からの被害はないと思っているが、ダムや貯水池が近く、大震災によりそれらの施設が破壊することも想定される。そういった場合についても想定してもらいたい。</p>
循環型社会推進課長	<p>具体的な計画となると、各地域によって、災害、被害の状況は異なる。県計画をもって、一時的に全て対応できるというものではなく、市町村自ら計画を作ってもらうための指針になるものを作りたいと考えており、被害想定についても南海トラフ地震や断層型地震等、パターン別で推計しているので、市町村には、具体的に地域に密着した計画を作ってもらいたいと常々お願いしている状況である。</p>
意見 7	<p>計画の中に、各市町村の処理施設がどういう状況にあるかという前提条件の資料があった方がよいと思う。理由は、倉敷市の水島エコワークスのガス化溶融炉が今、20年の契約期間が半分来ているが、残り10年の契約期間満了後、再契約はしないこととなり、別の施設が必要ということが、倉敷市では現時点で分かっている。計画の中で処理施設の現在の状況と将来的な状況が載っていると良いように思う。</p>
一般廃棄物班長	<p>平常時の取組として、各市町村の処理施設の状況については整理することとしており、将来的にその状況は変わってくるので、最低でも年に1回程度、情報は更新して、いつ災害が起きても使える情報となるよう更新していく方針である。</p>
循環型社会推進課長	<p>計画の中に細かな施設までは掲載できないが、処理施設については整理するので、事務局としては情報の把握に努めてまいりたい。</p>
意見 8	<p>例えば、苫田ダムが決壊する等、地域別の被害のシナリオを予想しての被害想定推計となっているのか。</p>
一般廃棄物班長	<p>南海トラフ地震については、地震直後、全ての堤防が決壊する想定したシナリオと、津波が発生し、越流後に堤防が決壊する2つのパターンで想定して行っている。細かい条件を設定していくとパターンの</p>

	<p>数が多くなってくるので、ここでは、堤防に関しては、大きく2つのパターンとしている。</p>
意見9	<p>市町村によって、一番リスクが大きい想定があると思う。県計画の中にはそういったシナリオは掲載しないとしても、情報としては持っているのか。そうしておけば、市町村と県でコミュニケーションがスムーズに行くと思う。</p> <p>また、岡山県で特有な問題はあるか。例えば、島は廃棄物を船で搬出している等の状況から特有な問題があるだろう。そういった特殊な問題は出てくると思うが、現在計画が、平均的なシナリオでできているので、心配である。</p>
意見10	<p>災害はいつくるか分からないが、計画を32年までに作るといっても、仮に1年後に災害が来れば、間に合わない。計画がまとまるまでに、ある程度行動できる体制や初動を示すものがあつた方がいいと思う。災害の対応のためには、ある程度イメージしておかないといけない。リスクマネジメントでは、レベル分けして作っていくので、心配である。</p>
循環型社会 推進課長	<p>現在でも県の地域防災計画の中に災害廃棄物の処理に関する事について規定しているが、具体的な細かい内容については定めていないので、この計画で定めることとしている。</p>
意見11	<p>本計画では地震災害等に伴う放射能汚染対策に係る事項については、対象から除くと書いてある。放射能汚染対策については、別に記載するという事か。この一行が引っかかる。</p>
循環型社会 推進課長	<p>放射能汚染対策については、国が直轄で対策を行っており、県や市町村で記載することはできない。御理解いただきたい。</p>
意見12	<p>県は指示命令系統であつて、実際行うのは、市町村であり、それがうまく行うコントロールするのが県の役割である。</p> <p>こういった計画があることによってスムーズな処理に繋がればよい。</p>
意見13	<p>自然災害によって、例えば、水島コンビナート火災などが発生し、</p>

<p>一般廃棄物 班長</p>	<p>生じた廃棄物の処理はこの計画の対象となるのか。</p> <p>基本的には災害で発生した廃棄物については、一般廃棄物と整理され、中小企業の被害であれば、市町村が処理している例もあり、国の補助金の対象にもなっているが、コンビニートのような大企業については基本的には市町村処理ではなく、国の補助金の対象にもならない。</p> <p>先日開催した市町村説明会で、国立環境研究所の研究者を講師として招いたが、講演の中でも、大企業については、基本的に市町村が処理するのではなく、大企業に処理責任があるが、東日本大震災の際には、大企業の廃棄物も含めて、市町村処理の対象としているとの説明があった。</p>
<p>意見 1 4</p>	<p>以前に発生した水島の高潮の災害の際に、水島の各企業は自ら処理していた。</p> <p><b>【議題 2 (1)】</b> 事務局から、資料により説明</p> <p><b>【その他】</b></p>
<p>—委員意見— 意見 1</p>	<p>本計画の中で津波堆積物についての記載があるが、今、海ごみの対策について、各都道府県で地域計画を作る状況がある。環境省でも策定に係る補助金の予算措置がなされている。津波のような突発的な状況だけでなく、平常時の計画についてもぜひ災害が起こる前に作ってもらいたい。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>